



2020年5月8日

各 位

上場会社名 日本製鉄株式会社
 代表者 代表取締役社長 橋本 英二
 (コード番号 5401)
 問合せ先責任者 広報センター所長 有田 進之介
 (TEL 03-6867-2135、2146、2977、3419)

2020年3月期通期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

本日公表の2020年3月期の連結業績において、前期実績に対して差異が生じたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 2020年3月期通期連結業績と前期実績との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益
前期実績 (2019年3月期) (A)	百万円 6,177,947	百万円 336,941	百万円 265,111	百万円 248,769
当期実績 (B)	5,921,525	△284,417	△406,119	△423,572
増減値(B-A)	△256,421	△621,359	△671,231	△672,342
増減率(%)	△4.2	—	—	—
(ご参考) 前回発表予想 (2020年2月7日公表) (C)	5,900,000	△310,000	—	—
増減値(B-C)	21,525	25,582	—	—
増減率(%)	0.4	—	—	—

	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前期実績 (2019年3月期) (A)	百万円 257,579	百万円 251,169	円 銭 281.77
当期実績 (B)	△426,120	△431,513	△468.74
増減値(B-A)	△683,699	△682,683	
増減率(%)	—	—	
(ご参考) 前回発表予想 (2020年2月7日公表) (C)	—	△440,000	△478.00
増減値(B-C)	—	8,486	
増減率(%)	—	—	

2. 差異の理由

当期の業績については、全社をあげた設備・操業安定化対策やコスト改善の実行及び紐付き分野の価格改善、最適な生産・出荷規模を追求する経済生産を継続する一方で、世界的な鋼材需要の低迷による生産・出荷量の減少、「原料市況高・鋼材市況安」によるマージンの縮小、災害影響、在庫評価差、グループ会社の損益悪化、事業用資産の減損損失の計上等により、前期実績に対し大幅に減益となりました。

詳細については、本日開示しております『2020年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)』及び『2019年度決算及び剰余金の配当(期末)について』をご覧ください。

以 上